

平成26年度 燕市西蒲原郡特別活動部 活動報告

部長 古谷 一成

1 研究テーマ

お互いを認め合える学級づくり ～考えを伝え合う話し合い活動を通して～

2 組織

顧問：古谷 一成（燕市立燕東小学校） 部長：池田 一也（燕市立吉田北小学校）

部員数 10名

3 活動の概要

(1) 総会、第1回研究部会

① 実施期日・会場 4月16日（水） 弥彦村立弥彦小学校

② 内容

ア 特別活動部の組織づくり イ 研究テーマの決定

ウ 活動計画の作成

(2) 第2回研究部会

① 実施期日・会場 6月4日（水） 燕市立吉田北小学校

② 内容

ア 部員一人一人が、研究テーマに沿って実践した学級活動や児童会活動、異学年活動などの実践を持ち寄り情報交換を行う。

イ 紹介された実践の良い点、改善点等について意見交換することで、今後の自分の実践に生かせる情報を持ち帰る。

(3) 第3回研究部会

① 実施期日・会場 12月3日（水） 燕市立吉田南小学校

② 内容

ア 部員による公開授業と協議会

〔授業者〕 森林 静恵 教諭（燕市立吉田南小学校）

〔指導者〕 小林 靖直 様（新潟市立根岸小学校長）

イ 授業の概要

（活動名） しっぽとりおにで なかよしげんき100%しゅうかいをひらこう（ねらい）

みんなが楽しくなるようにという視点をもって話し合い、「なかよしげんき100%しゅうかいのしっぽとりおに」を改善することができる。

（提案性）

・児童一人一人の考えを見取りやすくするために、赤緑棒（赤：よかったこと、楽しかったこと。緑：困ったこと、直したいこと）を活用し、児童が自分の考えを示すことができるようにする。

・話し合いの途中で「お試しの活動」を行い、「みんなが楽しい」というねらいを再認識して話し合いができるようにする。

ウ 協議会の概要（略）

4 成果と課題（○成果 ●課題）※公開授業における成果と課題

○ 児童が赤緑棒を提示しながら「私は緑なんだけど・・・。」と立場を明確にして意見を述べることができた。児童が、自分の言葉で、経験をもとに本音で話していた。

○ 「お試しの活動」の場面で改善案を実際に体験することで、児童が自分の意見を考え直すことができた。特活の特質である、集団活動、自主的な活動、実践的な活動がすべて入っており、よい実践であった。

● 話し合いの観点が広すぎた。「緑」の理由を整理し、それを解決し「赤」にするという一点で通していくと、話し合いがクリアになった。